



次世代 への投資

親愛なる友人の皆様

米国と日本は永続的なパートナーシップで結ばれており、日米両国民が共有する価値観、相互理解、そして人と人との絆が、このパートナーシップを強固なものにしています。

「TOMODACHIイニシアチブ」は、日米の若者のこうした繋がりを強化し、今後も堅固な日米関係を構築していく上で極めて重要な役割を果たす、ユニークなパートナーシップです。

2014年、TOMODACHIは日米各地でプログラムを拡大し、太平洋の両側で若者にインスピレーションを与え、この2国間関係に新鮮かつ多様な視点をもたらしました。本年だけでも、1,300名を超える若者がTOMODACHI交流プログラムに参加しましたが、その半数以上は津波で壊滅的な被害を受けた東北地方の若者たちでした。

またTOMODACHIは、新たなプログラム参加者を迎えるだけでなく、プログラム経験者(アラムナイ)同志のつながりや専門能力の開発を継続的に促進するための活動、ワークショップ、イベント、トレーニングなどを実施しました。

本年そして近い将来にわたってTOMODACHIプログラムの重要なテーマとなるのは、女性のエンパワーメントとリーダーシップ、市民活動への参加、そして科学技術研究の促進などです。TOMODACHIプログラムは、知的好奇心と自信にあふれ、グローバルな課題の解決に向けて協力する意欲を持つ、異なる文化を理解できるリーダーの育成を目指しています。

TOMODACHIは企業・組織との強力なパートナーシップにより、日米関係に新たなエネルギーとプログラムをもたらしてきました。日米両国の多くのトップ企業によるご支援に深く感謝いたします。こうした多大なご支援を得て、TOMODACHIイニシアチブはパートナーと共に、強力なインパクトとインスピレーションをもたらすプログラムを提供し、オバマ大統領と安倍総理大臣が発表した、2020年までに日米の学生交流を倍増するという重要な目標の達成に向けて貢献しています。

若者と「TOMODACHI世代」の明るい未来に対する私たちのコミットメントに賛同して下さっている皆様に、心から感謝申し上げます。

キャロライン・B・ケネディ
駐日米国大使

アイリーン・ヒラノ・イノウエ
米日カウンシル会長



「先駆的な官民協力としてTOMODACHIイニシアチブ
を立ち上げた。」

日米共同声明(2014年4月25日)



使命

TOMODACHIイニシアチブは、公益財団法人米日カウンシルと在日米国大使館が主導する官民パートナーシップです。東日本大震災後の復興支援として発足され、教育、文化交流、リーダーシップ育成などのプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指します。

ビジョン

日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協調的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI世代」の育成を目指しています。

背景

2011年3月11日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本はTOMODACHIイニシアチブを開始しました。TOMODACHIは公益財団法人米日カウンシルと在日米国大使館とが主導し、日本政府および日米の企業、団体、個人から支援を受けています。

将来

TOMODACHIイニシアチブは、これからも官民パートナーシップの模範としての役割を果たしていきます。そして、アラムナイ(プログラム経験者)プログラムなど、日米の次世代のリーダーを育成する各種プログラムを企画・構築し、日米関係を支援する企業・団体とのパートナーシップを拡大していきます。

TOMODACHIプログラム

教育プログラムは、短・中・長期的な留学体験などを通じ、互いの文化に触れることで日米両国の若者の交流を活性化また拡大し、彼らの人生に刺激を与えるものです。

文化交流プログラムは、スポーツ、音楽、芸術において日米両国の若者が互いの文化や技術を学び、彼らの将来に繋がるきっかけを提供するものです。

リーダーシッププログラムは、次世代リーダー候補と起業家に対し、彼らを成功へ導くためのスキルや、専門知識の提供をはじめ、資金調達を可能にするためのサポートを行います。

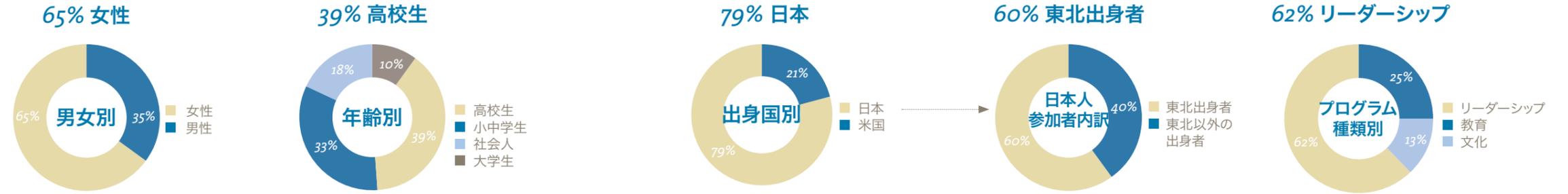


TOMO
DACHI

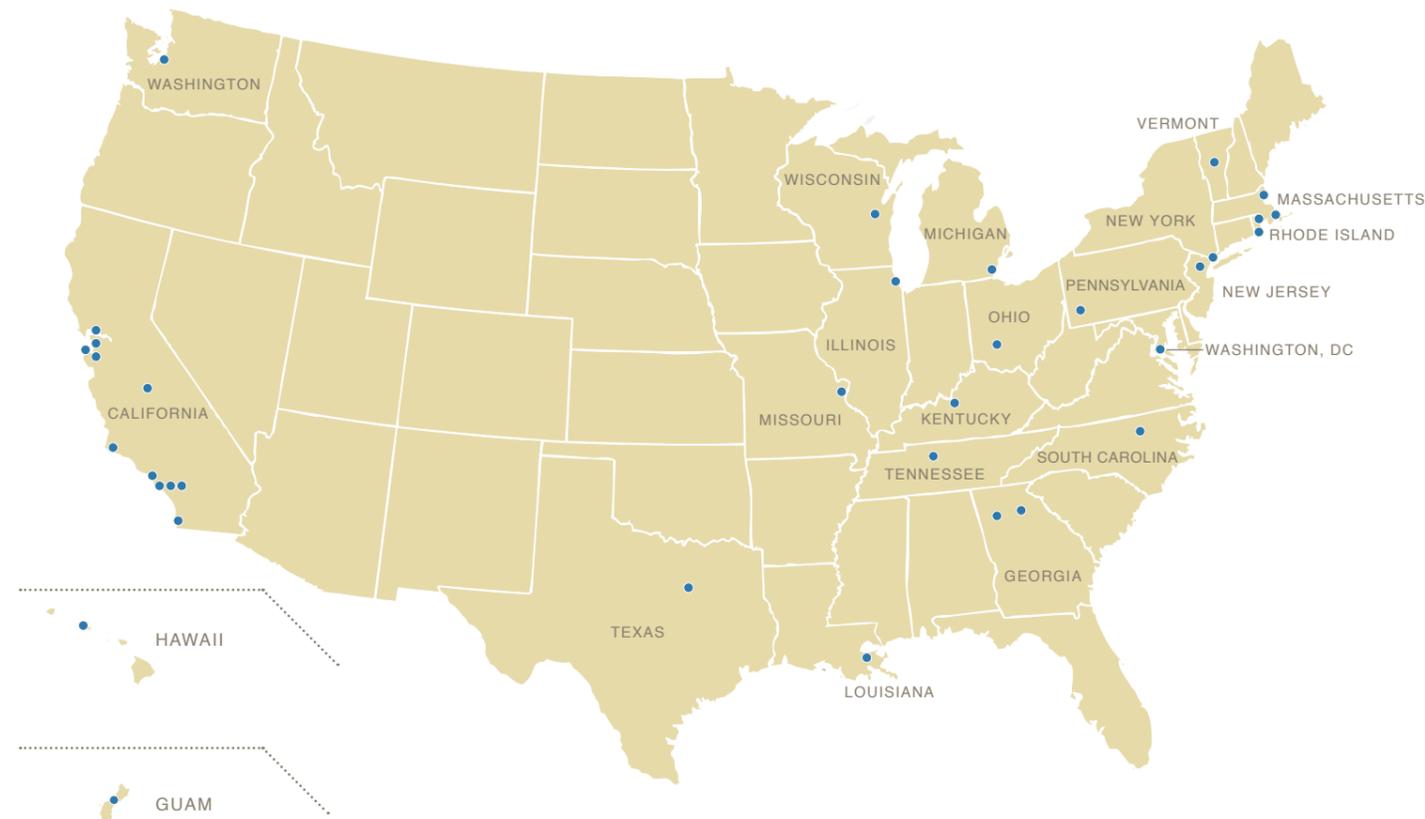
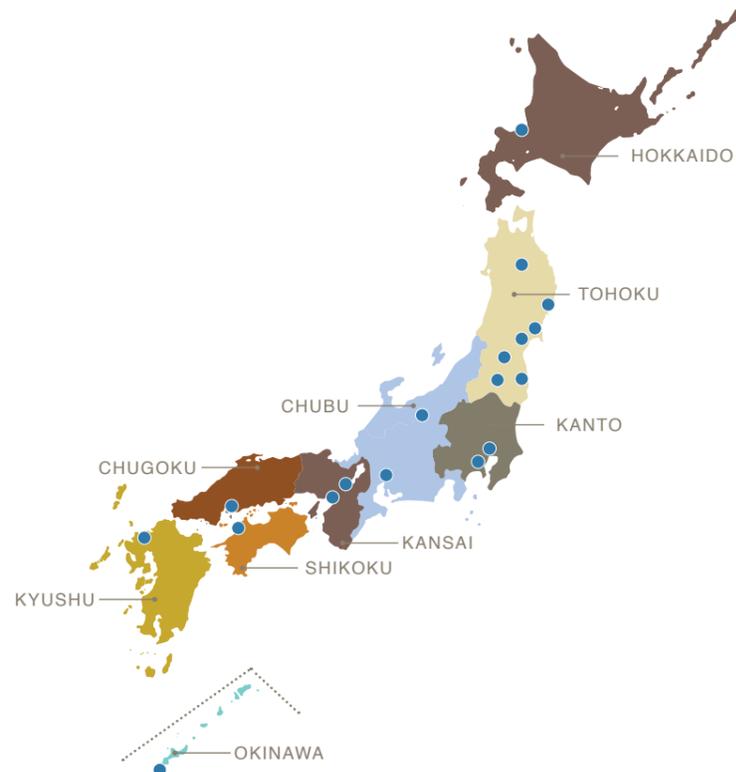
2014年TOMODACHIイベント&プログラム参加者数: **7,315**



先駆的な
官民
パートナーシップ

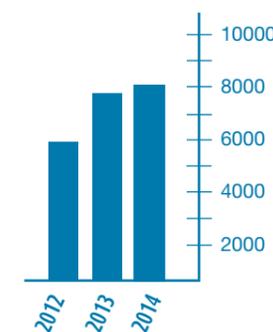


2014年は **50** のプログラムを日米 **24** カ所で実施

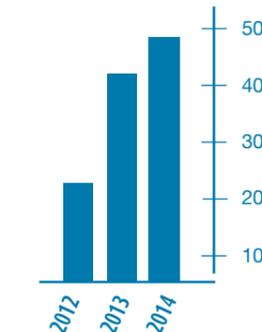


発足から2014年12月までに **23,000**
以上のイベントとプログラム参加者を記録

参加者数の増加



プログラム数の増加



最大の 効果をもたらす パートナーシップ

TOMODACHIイニシアチブを支援するストラテジック・パートナーは起業家精神、科学、文化、芸術など、多岐に渡る分野で、プログラム参加者の人生に、多大な影響を与えるプログラムを提供しています。独自に開発されるストラテジック・パートナー・プログラムは、様々なスキル向上の機会を提供する他、リーダーシップの育成や市民活動に対する意識の向上などを学ぶ機会を提供しています。2014年には、高校生から若手のプロフェッショナルまで、500名を超える次世代の若者たちが14のプログラムに参加しました。プログラム終了後も「TOMODACHI世代」のメンバーは、TOMODACHIのイベントやプログラムにアラムナイとして参加し、刺激を受けながら、成長を続けています。

「私はこのプログラムを通して、地元の地域活性化のために必要なリーダーシップを学び、使命感を得ることができました。また、新しい仲間と新しい場所で学んだことで、他の被災地の学生の取り組みを知って大きな刺激を受け、受け身ではなく、自分が行動を起こさなければならないという使命感を持つよう変わりました。

門馬 千沙さん、TOMODACHIサマー2014 ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

2014年ストラテジック・パートナー・プログラム

TOMODACHIアフラックプログラム

有望な日本の若手がん専門医を対象に、米国における小児がん研究・治療を様々な角度から学ぶ機会を提供するプログラム。2014年は、北海道大学病院の大島淳二郎医師が「アフラックがん・血液病センター（ジョージア州アトランタ）」に6ヶ月間留学し、米国の癌治療有効症例を学び、日本における有効症例を共有しました。

TOMODACHIサマーコカ・コーラ ホームステイ研修プログラム

3年目を迎えた本プログラムでは、東北地方から高校生60名を選出し、コカ・コーラ本社が所在するジョージア州アトランタを訪問した他、4つのグループに分かれて全米各地でホームステイを体験しました。プログラム参加生は、ホームステイを通じて米国の生活様式や文化を様々な角度から体験し、また各地の大学を訪問した他、英語のワークショップやボランティア活動にも参加しました。

TOMODACHI ゴールドマン・サックス・ ロードショー

「ヤングアメリカンズ」のキャスト15名が、岩手、宮城、福島の小中学校49校3,000人の児童生徒を対象に、歌やダンスを中心としたワークショップを開催しました。ヤングアメリカンズが提供するワークショップは、心を開き、自信をつけ、また異文化を学ぶ機会を提供しています。

TOMODACHI Honda文化交流 プログラム

2014年に設立された本文化交流プログラムでは、宮城県の高中生20名がカリフォルニア州ロサンゼルス地域に2週間滞在し、音楽を通じて米国の伝統と文化を学びました。プログラムのハイライトは元旦に開催されるローズ・ボール・パレードへの参加で、その他全米日系人博物館やアメリカン・ホンダ・モーター社を訪問しました。

J.P. モルガン支援のTOMODACHI NGO リーダーシップ・プログラム

日本の非営利団体の次世代のリーダーを対象に、日本国内や海外で将来起こりうる災害時に有効な対応と、米国内の様々なリソースへのアクセスを学ぶ研修プログラム。2014年は4段階のプログラムで構成され、ワシントンD.C.におけるNGOリーダーシップ研修（6月）、啓蒙活動の研修（7月）、リーダーシップ・ワークショップ（9月）、そして人道支援ワークショップ（10月）を提供しました。

TOMODACHIメジャーリーグ・ ベースボール(MLB)パートナーシップ

メジャーリーグベースボールジャパン(MLB JAPAN)がコンビニエンス・ストアのローソンとパートナーシップを組み、マラソンのチャリティー・イベント「MLBチャリティーリレーマラソンat国立競技場Presented byローソンチケット」が開催され、その収益の1部がTOMODACHIイニシアチブに寄付されました。このチャリティー・イベントには、約1,500名が参加し、元メジャーリーガーの野茂英雄選手や田口壮選手も参加し、イベントの冒頭で挨拶をしました。



地域の人々に 活力を与える

TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program

2年目を迎えたこのメンターシップ・プログラムは、日本国内4都市(東京、大阪、福岡、那覇)に活動を広げ、参加者数は延べ82名となりました。女性のメンター、メンティーたちは、自己啓発、リーダーシップ研修、ネットワーキング・スキルの向上、財務管理能力などに特化した年5回のワークショップに参加しました。

TOMODACHI MUFG国際交流プログラム

3年目を迎えたこの相互交流プログラムでは、東北地方の中高生26名が、カリフォルニア州ロサンゼルスを訪れ、2週間の交流プログラムに参加しました。生徒たちは、学習プログラム、ホームステイ、社会科見学、ボランティア活動を通じて、米国の文化と価値観を学びました。

TOMODACHI-Mitsui & Co. Leadership Program

日米の官民における次世代のリーダーが、日米関係の発展に意欲的に取り組むことを目指したプログラム。2014年には「起業家精神・革新・産業開発」というテーマに沿って、官民を代表する日米各10名の若手プロフェッショナルが双方を訪問し、視野を広げ、ネットワークを構築しました。

TOMODACHIサマー・ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

東北地方出身の高校生100名が、カリフォルニア大学パークレー校で3週間の集中コースに参加し、グローバルで通用するリーダーシップ・スキルと地域での活動、貢献について学びました。参加生徒はY-PLAN (Youth-Plan, Learn, Act, Now!) プログラムを学び、ホームステイ、ボランティア活動、また現地の高校生との交流を通じて、米国社会と文化に対する理解を深めました。

TOMODACHI住友商事奨学金プログラム

2014年に発足した、大学生を対象とした奨学金プログラム。財政援助を必要とする優秀な学生を対象に、約1年間の海外留学を支援する奨学金を提供します。2014年の秋、3名の日本人学生が本プログラムの奨学生として選出され、米国各地の大学に留学しました。本プログラムの目標は、グローバルな精神を養い、日米の架け橋として積極的に活動する次世代のリーダーを育成することです。



「このプログラム(第3回 TOMODACHI MUFG国際交流プログラム)を通して私自身視野が広がり、あらゆるものの考え方が変わりました。世界観が広くなり、同時に自分のやりたいこと、将来の夢の幅が広がりました。」

岩沼咲季、第3回TOMODACHI MUFG国際交流プログラム



サントリー音楽奨学金「TOMODACHI Suntory Music Scholarship Fund」

日本人の若手音楽家を対象に米国の有名音楽大学3校(ジュリアード音楽院、パークリー音楽大学、サンフランシスコ音楽院)に留学する機会を提供するプログラムで、2014年には3人の学生が選出されました。本プログラムは、音楽の学習を通じて、日米関係の強化に熱心に取り組んでいる、次世代のリーダーを支援するものです。

TOMODACHI Toshiba科学技術リーダーシップ・アカデミー

災害に強いスマート・コミュニティを構築する目的で設立されたプログラム。日米の高校生16名が集結し、問題点を明確にし、協力して創造性に富んだ解決策に取り組む機会を提供しました。米国で「サイエンス・ガイ」の愛称で知られるビル・ナイ氏も参加し、日米の生徒たちは科学・技術・工学・数学(STEM)のスキルを向上し、ダイナミックな議論と活動を通じて、世界に存在する様々な課題の解決に、科学・技術を応用する方法を模索しました。

TOMODACHI-UNIQLOフェローシップ

日本のビジネスとファッション分野における次世代のリーダーを支援するプログラム。グローバル市場における活躍を目指し、教育の機会を提供します。2014年には、米国有数の教育機関3校(スタンフォード大学ビジネススクール、ファッション工科大学、パーソンズ・ニュー・スクール・フォー・デザイン)で大学院課程に留学する、4人の学生に奨学金を提供しました。

東北の若者に 希望を与える

TOMODACHI交流基金は、三菱商事株式会社、トヨタ自動車株式会社、ならびに株式会社日立製作所から多大な支援を得て2012年4月に発足されたプログラムで、東北地方の若者たちに米国における革新的な教育・文化交流プログラムに参加する機会を提供しています。2014年年末までに、同基金の下で28の革新的な草の根プログラムが実施され、たくさんの東北地方の若者を刺激し、長期的に良い影響を与えています。このようなプログラムは、全米各地の日米協会などさまざまなパートナー組織にもパワーを与え、姉妹都市関係を促進し、企業間の新しいパートナーシップを育てています。これらのプログラムは、自分にも地元にも希望をもたらす方法を模索していた、無数の若者の人生に良い影響を及ぼしています。



「TOMODACHIは私に新たな文化やはっきりとした希望を持つことの意義を教えてくれ、また、私自身や仲間にも多くの新たな扉を開くきっかけを作ってくれました。」

アレックス・チャウ、TOMODACHI ダラス・仙台ヤングアンバサダーズプログラム2014

2014年TOMODACHI交流基金プログラム

TOMODACHI世代の構築：日米の学生による社会的問題解決のためのパートナーシップ | TOMODACHI ダラス・仙台 ヤング アンバサダーズ プログラム | TOMODACHI デル・ノルテ高校2014陸前高田交流プログラム | TOMODACHI ジャパンソサエティ・ジュニア・フェロー学生交流プログラム | TOMODACHI オルフェウス室内管弦楽団日本ツアー研修会 | ハワイ・レインボーキッズ・プロジェクト | TOMODACHI Social Innovation in Seattle (SIIS) Scholars Program | 南カリフォルニア・福島 ユース文化交流プログラム | TOMODACHI米日ユース交流プログラム | TOMODACHI セントルイス・石巻 草の根 交流プログラム | 2014TOMODACHIサマー 英語研修プログラム | サンディエゴ/ティファナ・大船渡 青少年野球交流プログラム | H-LAB 2014 | TOMODACHI 普代村神楽団体プログラム2014

世界に通用する リーダーへの投資

協賛・支援企業および個人からの寄付が、教育交流、リーダーシップ育成、芸術・音楽・スポーツをはじめとする文化プログラムなど、幅広い分野のTOMODACHIプログラムを支えています。2014年にTOMODACHIは、日米のプログラム実施団体と協力して、14歳から35歳までの新たに台頭してきた600名以上のリーダーたちを対象に、24のプログラムを実施しました。東北地方から沖縄を含む全国各地から集まった参加者が全米各地の参加者と交流しました。



「二国間関係で重要なのは政治的な大きなつながりだけではありません。草の根で築く小さなつながりを通してこそ、強い絆が生まれるのです。」

チェルシー・タカサキ 2014TOMODACHIイノウエ・スカラーズプログラムのハワイ大学マノア校

2014年一般基金プログラム

- TOMODACHI Innovations in Civic Participation (ICP) Collegiate Civic Engagement Program
- TOMODACHISコア・スタディー・ツアー | TOMODACHI「音楽の力」プログラム | TOMODACHIソーシャルアントレプレナーシップ・プログラム | TOMODACHビヨントゥモロー・グローバル・リーダーシップ・アカデミー
- TOMODACHIブリッジング・スカラシップ | TOMODACHI Job Shadow Challenge Program
- TOMODACHINースウェスタン高校ダンス交流プログラム | 日米関係に貢献する次世代のリーダー育成:教育者の役割 (Voluntary Visitor Program) | ドラッカー日本人次世代リーダーズプログラム | 第66回日米学生会議
- TOMODACHINースカロライナ国際交流基金 | TOMODACHIFrogs Jr.プロジェクト | TOMODACHI女子高校生キャリアメンタリングプログラムin福島 | TOMODACHIM松江・ニューオリンズ交流プログラム | 米国バーモント州キャリア・文化体験プログラム2014 | ヤング・アメリカンズ東北ツアー | 第24回日米草の根交流サミット2014
- サンディエゴ大会 | TOMODACHIM広野町代表団 | 第4回米国大使館・慶応湘南藤沢キャンパス(SFC) TOMODACHIMアントレプレナーシップ・セミナー | TOMODACHIMシアトル-福島草の根交流プログラム
- TOMODACHIM新生リーダープログラム | ELS大学準備プログラムxTOMODACHIM奨学生 | TOMODACHIMサマー・ビヨントゥモロー米国プログラム | TOMODACHIMイノウエ・スカラーズプログラム

関わり 続ける

TOMODACHIイニシアチブは、日米関係の強化に尽力する、多様な経歴を持つ日米の若者たちのネットワークの拡大を目指しています。またTOMODACHIプログラムに1度参加した若者たちが、その体験を機に個人的な夢の実現を目指し、ビジネス・チャンスをも母国で切り開くことを望んでいます。プルデンシャル財団をスポンサーとするTOMODACHIアラムナイ・リーダーシップ・プログラムは、TOMODACHI体験を基盤に、日米の若者たちがさらに経験を積み、スキルを身につけ、自信をつけることによって、インスピレーションと力を享受し、夢を実現し、より良い世界の構築に貢献できる人材となるよう支援します。TOMODACHIは、アラムナイ同士が互いを刺激し、強く、団結した、永続的な関係を築きながら、世界に通用するリーダーに成長する様々な機会を提供します。

「米日カウンシルのメンバーの方や他のTOMODACHIプログラム参加者との交流は、将来の日米関係について考えるきっかけにもなりました。将来は日米関係の強化に自分が貢献していければと思います。」

小北采佳(オギタ アヤカ) TOMODACHI住友商事奨学金プログラム2014

2014年の実績

- » 1,400名を超えるアラムナイに様々な分野での機会を提供
- » 400名を超えるアラムナイにスキルの開発、短期交流、ネットワーキングの機会を提供
- » 公式・非公式のTOMODACHIアラムナイの会合を16回にわたって仙台、大船渡、盛岡、いわき、大阪、東京、およびハワイ州ホノルルの各地で開催
- » 15のハイレベルの日米派遣団やイベントに参加
- » 既存の寄付者から、アラムナイの活動のために小額の助成金を確保
- » 米国国務省の各種プログラムに招待
- » 高校生アラムナイの中から選出されたグループが、語学研修とスキルの開発のため、再び渡米

2014年に提供された様々な機会

2014年に、TOMODACHIは、プルデンシャル財団の多大な支援により、ハイレベルな体験とリーダーシップ育成の機会をアラムナイに提供しました。

在日米国商工会議所/米日カウンシル・ ウィメン・イン・ビジネス・サミット

アラムナイ3名がこのサミットに参加し、ネットワーキングや起業家精神に関するトレーニングを受け、様々な分野で活躍する人々から有益な話を聞きました。このサミットは安倍内閣総理大臣、ケネディ駐日米国大使、およびアイリーン・ヒラノ・イノウエ米日カウンシル会長も出席し、アラムナイは幅広い分野のリーダーたちと交流する機会を得ました。

キャサリン・ラッセル米国際女性問題担当 大使と会談

ラッセル大使は多忙な訪日プログラムの中、アラムナイ10名と会談し、彼等の体験や苦労した経験について話し合いました。この少人数の非公式な会合は、WAW! Tokyo 2014“シャイン・ウィークス”公式サイドイベントとして開催された、メットライフ生命シンポジウムに先立って行われました。

米国大使館首席公使が東北を訪問

退任前に東北を訪問したカート・トン前在日米国首席公使夫妻が、アラムナイ3名とTOMODACHI夏期交流プログラムの候補生2名と懇談し、さまざまな提案や将来の抱負について話し合いました。

「躍進する女性のリーダーシップと科学・ エネルギー分野の多様性」シンポジウム

アラムナイ10名が、米国エネルギー省日本事務所の企画したシンポジウムに参加しました。開会式ではケネディ駐日米国大使が講演し、シンポジウムには、企業、政府、各機関から230名の代表者が参加しました。またシンポジウムの前には、パネリストとの非公式な会議に招待されました。



成功を基に

次世代の リーダーシップ



バラク・オバマ米国大統領が日本科学未来館を訪問

科学分野で学ぶTOMODACHIアラムナイ6名と、米国国務省国際交流プログラムのアラムナイ数名が、オバマ米国大統領と東京の日本科学未来館で懇談しました。

キャロライン・ケネディ駐日米国大使公邸で開催されたTOMODACHI寄付者とストラテジック・パートナーのためのレセプション

各種プログラムのアラムナイ10名がTOMODACHI世代を代表して米国大使公邸を訪れました。大使はTOMODACHIの寄付者に感謝の意を述べ、アイリーン・ヒラノ・イノウエ米日カウンシル会長が、新たなストラテジック・パートナーを発表しました。このイベントに先立ち、ケネディ大使は個人的にアラムナイを歓迎し、彼らが自分たちの体験と今後の展望を大使と共有しました。イベントでは、アラムナイのスピーチが聴衆を魅了し、TOMODACHIアラムナイがお互い協力しあう模範例となりました。

米国大使館・慶応湘南藤沢キャンパス(SFC)・TOMODACHIアントレプレナーシップ・セミナー

TOMODACHIに去年参加したアラムナイ達が今回で第4回となるセミナーの運営事務局でボランティアとして活躍しました。在日米国大使館の代表、起業家と投資家が、参加チームのトレーニングや指導を行い、各チームのビジネスプランを評価しました。

TOMODACHIイノウエ・スカラー・パネリスト

TOMODACHIアラムナイが、在日米国大使館スタッフやさまざまな専門家と共に、訪日中のTOMODACHIイノウエ・スカラープログラムの参加者に、交流やリーダーシップの体験を語りました。

米日カウンシル年次会議(ハワイ州ホノルル)

満席となったTOMODACHIパネルディスカッションにアラムナイが登壇し、スピーカーとしてTOMODACHIの体験を発表しました。日本人のアラムナイの講演は、異文化間の会話をより有意義なものにし、日系アメリカ人に対する理解を深めました。

マッキンゼー・アンド・カンパニー「TOMODACHIインパクト - ディスカッションとレセプション」

各種プログラムのアラムナイ5名がTOMODACHI世代を代表してTOMODACHIストラテジック・パートナー企業各社の幹部と話をしました。

Global Organization for Leadership and Diversity (GOLD) 年次会議

アラムナイ3名がGOLDから奨学金を得て、東京で開催された年次会議に出席しました。



TOMODACHIは、若者に人生の転機となる体験を提供する為、数多くのパートナー団体の協力を得ています。2014年のプログラム実施にあたり、以下の団体に助成金を交付しました。

AFS-USA | 公益財団法人 AFS日本協会 | 特定非営利活動法人 エイドタカタ | アメリカン・カウンシルズ・フォー・インターナショナル・エデュケーション | アトラス・コープ | アユサインターナショナル | BeGood Café
財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター | Cultural Vistas | ドラッカーインスティテュート | 一般財団法人教育支援グローバル基金 | The Greater New Orleans Foundation | Impact Foundation Japan/HLAB | 国際学生会議 | iLEAP | 社団法人日本国際生活体験協会 | ハワイ日米協会
ニューヨーク日米協会 | じぶん未来クラブ | 慶応大学湘南藤沢キャンパス | マーシー・コープス | 全米日米協会連合
NSTA | オルフェウス室内管弦楽団 | Ryukyufrogs(リュウキュウフロッグス) | ワシントンセンター

未来に向けて



TOMODACHIの基盤強化

TOMODACHI イニシアチブは、TOMODACHIの運営・管理面の強化に特化した寄付をいただいた武田薬品工業株式会社に深く感謝申し上げます。組織が効果を発揮し、使命を達成するためには、専任のスタッフとリソースが必要です。武田薬品工業(株)からの多額の寄付により、参加者の人生を変えるような各種プログラムを開発し、TOMODACHI 世代の育成および強力かつ持続的な日米関係の構築を目指すことが可能となっています。



世界に通用するリーダーシップの育成

2014年春、マッキンゼー・アンド・カンパニーは、支援の一環として、TOMODACHI イニシアチブの評価を行い、ユニークな官民パートナーシップとしての役割、社会に与える影響について調査しました。この調査では、TOMODACHI世代育成の各段階に焦点を当て、異文化リーダーシップを次の4段階から成る連続的なプロセスと位置付けました：異文化体験、インスピレーション、学習、リーダーシップ育成。TOMODACHIイニシアチブは、学生達に個人、異文化間、学術・専門分野において発展の機会を提供し、強い起業家精神と、社会に対するサービス精神を持ち合わせ、人々にインスピレーションを与える次世代のリーダーの育成を目指します。



TOMODACHIは日米の次世代リーダー育成に焦点を向けて、異文化交流若者リーダー育成を支援しています。

プログラム経験者 (TOMODACHIアラムナイ) ネットワーク
異文化リーダー成長過程

| 異文化体験 | インスピレーション | 学習 | アラムナイ |
|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 異文化との初めての接触 次世代の若者を日米関係に紹介 | <ul style="list-style-type: none"> 人生転機となる異文化体験 若者の異文化経験 | <ul style="list-style-type: none"> より発展した学問を学ぶ機会 社会貢献や地域社会での活動 | <ul style="list-style-type: none"> 次世代リーダーの育成 起業家精神育成プログラム 女性のためのメンタリングプログラム |

マッキンゼー・アンド・カンパニーが行ったTOMODACHIの研究そして戦略的活動レポートによって、TOMODACHIを組織的に磨き、強化し、日米の若者への影響を図ることができました。



高まる TOMODACHIの 広がり

TOMODACHIの知名度を高め、日米の若者による交流の重要性を、幅広く伝えることに尽力して下さった数多くのパートナー企業の皆様に、厚く御礼申し上げます。

1. TOMODACHIロゴを機体にデザインした全日空機
2. 羽田空港内の各所に設置されたTOMODACHIの看板
3. 日本各地のローソンとファミリーマートの店舗に設置されたTOMODACHI基金箱
4. ホテルオークラ東京がガーデニングフェアでTOMODACHIを支援
5. 渋谷駅ホームのTOMODACHI広告板
6. ユナイテッド航空機内誌のTOMODACHIイニシアチブ特集記事
7. アメリカン航空のTOMODACHIティーマップ
8. シェフ松久信氏とエリック・リパート氏がチャリティディナーでTOMODACHI支援

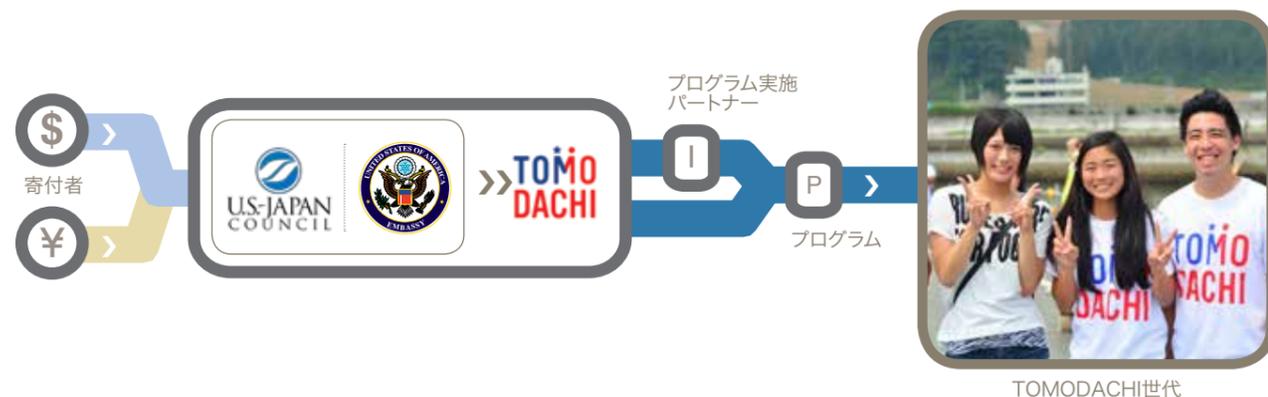
ユニークな官民 パートナーシップ



米日カウンシル(U.S.)および米日カウンシル—ジャパンは、在日米国大使館と協力し、官民パートナーシップであるTOMODACHIイニシアチブを管理・運営します。プログラムの開発と管理、コミュニケーションと普及活動、マーケティング、活動資金調達、寄付者との折衝などを主な活動としています。

米日カウンシル(U.S.)は、ワシントンD.C.に本部を置く501(c)(3)非営利非課税組織で、日米のあらゆる世代の人々をつなぐ活動をする団体です。

米日カウンシル—ジャパンは、東京で設立された公益財団法人です。米日カウンシル—ジャパンと米日カウンシル(U.S.)は別組織で、それぞれ独立した理事会によって運営されますが、双方が緊密に協力してTOMODACHIを運営しています。寄付者はその拠点が米国、日本のいずれを問わず、TOMODACHIイニシアチブに寄付した場合、日米それぞれの非営利組織に関する法律の定める範囲内で税の優遇措置を受けることができます。



以下の財務報告書は、TOMODACHIイニシアチブ設立以降の米日カウンシル—ジャパンおよび米日カウンシル(U.S.)の要約された財務報告書です。米日カウンシル—ジャパンの監査済み財務諸表は、www.tomodachi.org/jaで、また米日カウンシル(U.S.)の監査済み財務諸表はwww.usjapanCouncil.orgに掲載されています。

米日カウンシル (連結)
TOMODACHI 累積寄附額と支出 (各年)

| | 注記 ¹ -12/31/2013 | 2014 | 2015-21 (誓約済み) | 合計 |
|-------------------------------|--------------------------------|---------------------|----------------------|------------------------|
| TOMODACHI への寄附金及び誓約寄附金 | | | | |
| 米日カウンシル—ジャパン | \$ 9,319,655 | \$ 4,903,080 | \$ 4,596,790 | \$ 18,819,525 |
| 米日カウンシル (U.S.) | 9,566,695 | 2,698,390 | 8,103,500 | 20,368,585 |
| 現物寄付 (U.S. およびジャパン) | 1,996,400 | 816,000 | 2,063,660 | 4,876,060 |
| 寄附金及び誓約寄附金合計 | \$ 20,882,750 | \$ 8,417,470 | \$ 14,763,950 | \$ 44,064,170 |
| TOMODACHIに係る経費 | | | | |
| 米日カウンシル—ジャパン | \$ 2,660,605 | \$ 4,825,910 | \$ 10,896,340 | \$ 18,382,855 |
| 米日カウンシル (U.S.) | 7,238,785 | 2,305,220 | 10,309,340 | 19,853,345 |
| プログラム及びプログラム支援の経費-支払済み/未払い金 | 9,899,390 | 7,131,130 | 21,205,680 | 38,236,200 |
| 米日カウンシル—ジャパン | 249,030 | 187,640 | 注記 ³ | 436,670 |
| 米日カウンシル (U.S.) | 324,455 | 190,795 | 注記 ³ | 515,240 |
| 管理と資金調達合計 | 573,485 | 378,435 | 注記 ³ | 951,910 |
| 現物寄付 (U.S. およびジャパン) | 1,996,400 | 816,000 | 2,063,660 | 4,876,060 ² |
| 経費合計 | \$ 12,469,275 | \$ 8,325,565 | \$ 23,269,340 | \$ 44,064,170 |

米日カウンシル (U.S.)

TOMODACHI
財政状況 - 要約 (USD)

| | 2014 | 2013 |
|-------------------|---------------------|------------------|
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | \$ 706,034 | \$ 1,120,320 |
| 未収金 | 2,721,832 | 2,369,571 |
| 他の流動資産 | - | - |
| 無形資産-商標 | 2,335 | 2,335 |
| 資産合計 | \$ 3,430,201 | \$ 3,492,226 |
| 負債 | | |
| その他の流動負債 | - | - |
| 未払金 | 166,577 | 454,216 |
| 正味財産 | 3,263,624 | 3,038,010 |
| 負債及び正味財産合計 | \$ 3,430,201 | 3,492,226 |

収支要約

| | 2014 | 2013 |
|------------------------------|-------------------|---------------------|
| 収入 | | |
| 企業からの TOMODACHI 寄附金 | \$ 2,693,857 | \$ 3,078,599 |
| 個人からの TOMODACHI 寄附金 | 4,532 | 11,062 |
| 特定資産受取利息 | - | 64 |
| 収入合計 | \$ 2,698,389 | \$ 3,089,725 |
| 支出 | | |
| プログラム及びプログラム支援 | 2,305,219 | 3,117,962 |
| 管理と資金調達 | 190,796 | 145,515 |
| プログラム経費合計 | 2,496,015 | 3,263,477 |
| 正味財産の変動合計⁴ | \$ 202,374 | \$ (173,752) |

米日カウンシル — ジャパン

TOMODACHI
財政状況 - 要約 (USD)

| | 2014 | 2013 |
|-------------------|---------------------|------------------|
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | \$ 7,154,048 | \$ 6,816,023 |
| 未収金 | 2,133 | - |
| 他の流動資産 | - | 4,083 |
| 無形資産-商標 | 1,444 | 890 |
| 資産合計 | \$ 7,157,625 | \$ 6,820,996 |
| 負債 | | |
| その他の流動負債 | 14,544 | 3,975 |
| 未払金 | 682,892 | 246,371 |
| 正味財産 | 6,460,189 | 6,570,650 |
| 負債及び正味財産合計 | \$ 7,157,625 | 6,820,996 |

収支要約

| | 2014 | 2013 |
|------------------------------|---------------------|---------------------|
| 収入 | | |
| 企業からの TOMODACHI 寄附金 | \$ 4,892,050 | \$ 5,204,133 |
| 個人からの TOMODACHI 寄附金 | 10,224 | 24,700 |
| 特定資産受取利息 | 807 | 445 |
| 収入合計 | \$ 4,903,081 | 5,229,278 \$ |
| 支出 | | |
| プログラム及びプログラム支援 | 4,825,912 | 2,194,195 |
| 管理と資金調達 | 187,640 | 132,431 |
| プログラム経費合計 | 5,013,552 | 2,326,626 |
| 正味財産の変動合計⁴ | \$ (110,471) | \$ 2,902,652 |

1. TOMODACHI 事業は2011年の秋から開始。
 2. 現在に至る寄付行為及び現物寄付に値する\$4,876,060を含むTOMODACHIへの寄附金合計は\$44,064,170である。
 3. 管理及び資金調達の経費は未だ発生していない。
 4. 純資産変動額総額は特定年度の寄附額と支出額のみを反映しています。前年度(以前)に受領した複数年にわたる寄付や次年度(以降)に発生する支出は反映されていません。純資産のマイナス変動は現金持高や寄附総額と支出額のバランスがマイナスであることを示すものではありません。



感謝を込めて

ストラテジック・パートナー



協賛者/協賛企業



支援者/支援企業

アイエオオフィス
 アンダーソン・毛利・友常法律事務所
 アークヒルズクラブ
 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業
 CKサービス・コーポレーション
 (カルバン・クライン)
 公益社団法人企業市民協議会 (CBCC)
 第一リアルター株式会社
 ELS エデュケーションナルサービスズ
 エクソンモービル・ジャパン合同会社
 フェデックスコーポレーション
 株式会社フォーシーズ
 ギャガ株式会社

Google Japan
 株式会社ホテルオークラ東京
 株式会社帝国ホテル
 日本航空株式会社
 公益財団法人公益法人協会
 Kurion Inc.
 京セラ株式会社
 ミレニアム・プロミス・ジャパン
 三井住友海上火災保険株式会社
 株式会社ナイキジャパン
 Nobu's Japan
 オリック・ヘリントン・アンド・サトリフ
 法律事務所

Professor Kohei Funatsu & Son
 プロスカウアー・ローズ法律事務所
 株式会社セガ
 株式会社スペクター・
 コミュニケーションズ
 東京海上グループ
 TOTO株式会社
 トライコー株式会社
 名古屋ウォーカーソン
 (在日米国商工会議所)
 ウォーリー与那嶺財団
 ウェンディーズ
 YKK株式会社

共にTOMODACHI世代の育成に投資しましょう!



twitter.com/TOMODACHI
facebook.com/USJapanTOMODACHI
youtube.com/USJapanTOMODACHI
tomodachi.org/ja